

相馬
ゆうこの

南千住レポート



まちづくり・
くらしの情報を
届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627

FAX:3806-9246/メール:arajcp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX:3807-4192

jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター@m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp

条例制定と子どもの成長・命を守る取り組みを

荒川区議会で「子どもの権利条例」策定に向け、準備がすすめられています。

11月に素案を発表、12月1～14日(水)までパブリックコメントを実施中です。



権利条例 みなさん「子どもの権利条約」をご存じでしょうか。「世
177自治体で 界中の子どもたちに基本的人権を」と、1989年に国連で採択、日本では1994年に批准しました。子どもを権利の主体とし、4つの原則(※)を定めています。

※4つの原則…

- ・生命、生存及び発達に対する権利 (すべての子どもの命が守られ、能力を十分に伸ばして成長できるよう支援を受けることが保障されます)
- ・子どもの最善の利益 (子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます)
- ・子どもの意見の尊重 (子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を十分に考慮します)
- ・差別の禁止 (すべての子どもは、人種や国籍、性、意見、障がいなどどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます)



現在、全国177自治体(27都道府県、150市区町村)で「子どもの権利条約」に基づく「条例」を制定。23区中では5区で、昨年度、東京都も「こども基本条例」を制定。日本共産党区議団も長年、「荒川区でも制定を」求めてきました。

★東京都と23区の制定状況

2001年	世田谷区	世田谷区子ども条例
2005年	目黒区	目黒区子ども条例
2006年	豊島区	豊島区子どもの権利に関する条例
2021年	江戸川区	江戸川区子どもの権利条例
	東京都	東京都こども基本条例
2022年	中野	中野区子どもの権利に関する条例

条例制定で 区では、2020年の児童
具体的な取り組みを 相談所開設をきっかけに

条例化を検討。同時に、区議会超党派で条例提案するため「文教子育て支援委員会」として議論し、素案を提示。条例が「子どもの権利条約」を十分に活かしたものになっているか、子ども自身の意見も取り入れて丁寧な検討が必要です。また、制定で終わりで

日本の子どもの幸福度
ユニセフ調査(20位・38国中)

分野	指標
社会 (7位)	母親・父親に認められる育児休業の週数 子どもの貧困率
教育 (23位)	就学前教育・保育参加率 ニート率
健康 (34位)	はしかワクチン(2回目)接種率 低出生体重児(2,500グラム未満)の割合

日本の子どもも貧困率18%、はしかワクチン接種減少、低体重児出産も増加に

はなく、子どもの成長・命を守る具体的な取り組みに踏み出すことが重要です。素案はHPから見られます。みなさんのご意見お寄せ下さい。

パブリックコメント送り先

メール:kugikai@city.arakawa.tokyo.jp/FAX:03-3803-8887
郵送:〒116-8501荒川2-2-3荒川区役所 議会事務局企画調査係
持参:区役所5階 議会事務局

インフルエンザ予防接種助成の署名を提出

5日(月)、みなさんから頂いた、インフルエンザ予防接種の助成拡大を求める署名を区へ提出しました。みなさんご協力ありがとうございました。

署名提出に参加した方々からは、「足立は65歳以上が全額無料、北区は72歳以上、墨田は75歳以上無料など近隣区が無料になる中、荒川でも実現してほしい」「マンションで子どもたちが遊ぶ姿をよく見かける、子どもも高齢者も健康でいられるよう助成を」など要望が出されました。

就学前の障害児慢性疾病児に助成 子育て世代の方々から「助成をぜひ実現してほしい」と、思った以上に多くの要望を頂きました。ワクチンを打つかどうかの判断はそれぞれですが、子どもが複数いれば数万円の負担となるため、打ちたいと思っている方が経済的負担を理由に諦めることがないようにしたいと思います。

対応して頂いた健康推進担当部長、健康推進課長からは、「障害児、医療的ケア児等に対して一部助成を実施」「対象拡大についても、新たな知見も出てくる中で慎重に検討したい」とお話がありました。高齢者の接種無料の区や子どもへの助成を実施している区もあり、医学的根拠とともに経済的な理由を考慮しています。頂いた署名、区民の要望をもとに、区に対して助成対象拡大を引き続き働きかけていきます。



健康推進担当部長(左)に要望書を渡すみなさん



第一中とオーケストラのコンサートがあります

日時：12月24日(土)11~12時
場所：第一中学校体育館
定員：当日先着200人
入場無料です♪

第一中学校吹奏楽部の生徒たちと、MAXフィルハーモニー管弦楽団のみなさんが一緒に演奏します！クリスマスイブに、第九などオーケストラを楽しんではいかがですか。

昨年は南二中吹奏楽部の有志と一緒に、第九やスターウォーズのテーマなども。今年も子どもたちの演奏も楽しみです。



〈法律・生活相談〉

1月の定例法律相談日は 12日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第二木曜午後6時からですが、平日の午後に法律事務所(北千住)でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

区立幼稚園どうなる～希望者が通い続けられる整備を

12月1日(木)の文教子育て支援委員会で、区立幼稚園の来年度の3歳児クラス編成について報告がありました。

「4園クラス編成なし」 11月7・8日に行われた区立で11人が希望園変更 幼稚園の来年度申し込みで、南千住第三・町屋・尾久・東日暮里の4園で希望者が7人以下に。区教育委員会はクラス編成を中止するとして、改めて保護者へ入園希望を確認しました。その結果、4園を希望した方のうち、3名が南千住第二、4名が花の木、4名が日暮里各園に通園希望を変更。まだ6名の方が検討中です。

汐入こども園(短・中時間)については、申し込み7人以下ですが、希望通り受け入れを行います。

クラス編成求める 陳情審査を放置 希望者が7人以下となった園は、今年6月に突然「2024年度で受入れ終了、2026年度末をもって閉園」の対象にされた園です。廃園計画見直しを求める要望や陳情が出されましたが、区教委は受け入れず、計画を強行。支援が必要な子どもやきょうだい関係での希望もあり「せめて今年度はクラス編成を」と、南千住第三、東日暮里の保護者などから「陳情」が出され、日本共産党は「今回の委員会で採決すべき」と主張しました。しかし、委員長は今議会での「採決を行わない」と拒否。区民陳情を放置して採決を回避するのは、区議会の役割が問われます。あまりにもひどい。



変更後		
南千住第二	18 →	21
★南千住第三	6 →	学級編成なし
★町屋	4 →	学級編成なし
花の木	8 →	12
★尾久	6 →	学級編成なし
尾久第二	14 →	14
日暮里	12 →	16
★東日暮里	5 →	学級編成なし
★汐入こども園 (短・中時間)	6 →	6
計	79 →	69

★…区が廃止を提案している園



区も議会も 子ども優先で 支援が必要な子どもたちへの対策や希望園未定の方への丁寧な対応が必要です。延長保育、給食実施などの実施計画の具体的な報告も求められています。

区立幼稚園、今後はどうなるの？



区立園を半数に減らす計画です。一方で「3歳児の新学期が7人以下の場合は学級編成を中止」と独自の基準を設けています。

来年度(2023年度)、3歳児の学級編成が行われなければ4・5歳児のみに。再来年度(2024年度)は再び3歳児募集が行われますが、学級編成が中止になれば、実質、閉園が2年前倒しに。給食や預り保育を早急に具体化し、最後まで希望者が通える体制整備をもとめます。

区教育委員会は、南千住第三・町屋・尾久・東日暮里の4園を「2024年度で受入れ終了、2026年度末をもって閉園」として、

★2023, 24年度に3歳児クラスが編成されなかった場合…

	2023	24	25	26
3歳児	×	×		
4歳児		×	×	
5歳児			×	×



閉園が2年早まることに！

12/11～区の「PCR検査センター」を新設

今冬に心配されている新型コロナとインフルエンザの同時流行に備え、区は「体制強化を図る」としました。

リスク低い 若年層向け 区内の発熱外来は、当初40か所→現在は85か所まで増やし、今後も区医師会や医療機関と調整し更にふやす方針です。それでも医療ひっ迫で検査を受けられない事態を防ぐため、区は12月11日(日)から、有症状や濃厚接触となった重症化リスクが低い方を対象に「(仮称)荒川区若年輕症者PCR検査センター」

(仮称)荒川区若年輕症者PCR検査センター

対象：重症化リスクが低い方(高齢者、妊婦、小学生以下の子ども、基礎疾患のある方以外の方)で、有症状や濃厚接触となった方

期間：2022年12月11日(日)～翌年3月26日(日)

開設時間：日・祝のみ、9～12時の3時間

場所：竹内病院2F(荒川6-7-8)

費用：無料 / **予約：**インターネット



を新たに開設します。

期間は12月11日(日)～翌年3月26日(日)まで。開設は日曜・祝日のみ、9～12時の3時間です。1日最大48人、無料でPCR検査を実施。予約は区HPからインターネットで受け付け、結果は翌日メールでのお知らせです。

また、年末年始は12月29日(木)～1月3日(火)まで毎日開設します。お正月の旅行や帰省など移動や人と集まる機会がふえますが、健康にも注意を。



「妊娠中…マスク着用の声かけが辛い」

ご意見頂きました。「妊産婦のマスク着用について…すごく不安でたまりません。つわりが酷い妊娠初期～中期も『妊婦で気持ち悪いので(着用は)無理です』と伝えても『他の人から言われるから口を覆って』と…。吐き気を必死に抑えているときに、マスクの刺激は耐えられませんし、どうしても外出しなければならない時もあります。妊婦でゼーハーしているのに『マスクの着用を』と言われ、その声掛けもストレスやプレッシャーになり、呼吸は苦しくなるし、お腹も張りそうになり、出血したらと怖いです。一律にマスク着用の声掛けをしない社会になってほしい」

妊娠中は移動するのも大変、つわりが重いとマスク着用できない方もいます。「妊婦さんは高リスクだから…」と着用をすすめてくなりますが、個人の体調に合わせた判断を尊重したい。私も2年前に次女を出産する際、分娩時にもマスク着用で大変だったのを思い出しました。



ご意見・ご質問頂きました ○「汐入のタイ料理店が閉店? 居抜き情報が出ていました」ララテラスの麒麟堂跡も、次の店舗

南千住 タイ料理居抜 1階 18坪
荒川区南千住8丁目 物件番号:

は決まっていないようです。飲食店には厳しい状況が続きます。地域の要望に応えるお店の出店を希望したい。○「子どもの権利条例制定の一方で、区立幼稚園の廃止強行は矛盾を感じます。子どもの最善の利益を第一にという権利条約の理念に則るなら、もっと余裕をもった保育環境にしてほしい。条例がただの飾りにならないか心配です」

